

石川総合理解講座

～石川県民大学校放送利用講座～

いしかわ



まなびの心
かがやく人生

番組へのご意見は……
●石川県教育委員会事務局生涯学習課
☎(076)225-1836
●テレビ金沢 報道制作局制作部
☎(076)240-9036

～手話通訳つき放送～ 放送予定表 平成25年4月～9月

テレビ金沢 日曜 午前7:00～7:30

提供／石川県教育委員会 企画・制作／テレビ金沢

シリーズ・近代の石川を支えた偉人たち

石川県は幕末から昭和へと近代化していく中で、数多くの偉人を輩出してきました。現在の私たちの暮らしの礎となった先人たちの知恵や発想力はどのようなものだったのでしょうか。偉人たちの足跡を振り返りながら、今ある石川の姿を見つめます。(全7回)

第1回 4月21日(日)放送 『金沢建物めぐり～谷口 吉郎～』

●「東宮御所」や「東京国立博物館」など日本を代表する建物を設計した谷口吉郎(金沢市出身)は、「清らかな意匠」の理念の下、数多くの建築に携わりました。県内にも「石川県立美術館(現・石川県伝統産業工芸館)」など吉郎が設計した建物があり、日本で初めてと言われる文学碑(徳田秋声・卯辰山公園)も手掛けています。

第2回 5月12日(日)放送 『加賀のからくり師～大野 弁吉～』

●長崎で蘭学を学んだあと加賀の大野村に住み、からくり人形・写真機・望遠鏡・発火器など数々の作品を製造したとされる大野弁吉。その非凡な才能は金石の豪商・銭屋五兵衛の目にとまり、ひいては加賀藩の科学技術史に多大な影響を与えました。

第3回 6月2日(日)放送 『命の水をつなぐ～枝 権兵衛～』

●手取川ダムが出来る前、毎年のおこる洪水や日照りで水不足に悩まされた流域の人たちを救おうと、300mものトンネルを掘って富樫用水を完成させたのが枝権兵衛(白山市出身)です。この工事は後の七ヶ用水建設にも役立てられ、手取川扇状地は全国でも稀な水の便のよい環境となっています。

第4回 6月23日(日)放送 『近代納豆の父～三浦 二郎～』

●盛岡高等農林学校を卒業後、獣医となった三浦二郎(金沢市出身)は、「衛生納豆」の存在を知り研究に専念。文化室・回転接種器などを発明し、納豆の量産化技術を確立しました。後に宮城野菌(三浦菌)として知られる納豆菌の販売も行うなど、『納豆菌の研究と納豆の製造では、日本一の名人』と呼ばれました。

第5回 7月14日(日)放送 『未来へはばたけ!～東 善作～』

●金沢でアメリカの曲芸飛行の妙技に憧れ渡米した東善作(かほく市出身)。昭和5年にはアメリカ、ヨーロッパ、シベリアの三大陸を単独横断。延べ約1万8000キロを約70日かけて飛行し、日本のリンドバーグと称賛されました。また、軍人、政治家との交流も深く飛行学校設立に奔走。戦後は国内初のウラン鉱脈を発見しました。

第6回 8月4日(日)放送 『福祉のこころ～小野 太三郎～』

●日本で最初に社会福祉事業を個人として実践した小野太三郎(金沢市出身)は、24歳の時、困窮した人々に自宅を開放し自費で救護活動を始めました。明治38年に「小野慈善院」を創立して財団法人化するまでに、のべ1万人あまりを独力で救済し、その生涯を社会福祉事業に捧げました。

第7回 9月1日(日)放送 『近代医療の父～黒川 良安～』

●江戸時代末期の蘭学医、蘭学者だった黒川良安(現・富山県上市町出身)はドイツの医師・シーボルトなどに医学を学び、13代藩主・前田斉泰の侍医として金沢に定住します。後に金沢藩医学館(現・金沢大学医学部)の基となる金沢種痘所を創立し、北陸における近代医学の祖と呼ばれています。

(都合により放送順序・放送時間が変わることもあります。)
県民大学校については 石川県立生涯学習センターまで、お問い合わせ下さい。
〒920-0935 金沢市石引4丁目17番1号 石川県本多の森庁舎2階
電話(076)223-9572 FAX(076)223-9585

【大百科セレクション・再放送】

これまで放送した『いしかわ大百科』で、視聴者から好評をいただいた回を再放送します。

9月22日(日)放送 『近代水産業の開拓者 関沢 明清』(シリーズ・いしかわの先駆者たち⑤)

●日本が初めて参加したウィーン万国博で、諸外国の魚網編み機や養殖法に注目。水産資源の宝庫とされていた明治の日本にあつて、イワシを漁獲する巾着網の基礎を作り、養殖技術や、日本で最初の捕獲、缶詰製法を導入するなど、水産行政の確立と漁業の近代化に大きく貢献しました。

(平成20年3月30日放送)